■特長

この時計は、時刻表示機能（時、分、秒、曜日）のほかに、以下の機能を備えています。

アラーム機能
1日に1回鳴る、アラームの設定が可能です。時報も設定できます。サウンドデモンストレーションができます。

ストップウオッチ機能
24時間計。40分までは1/100秒単位で計測ができます。スプリット機能ちます。

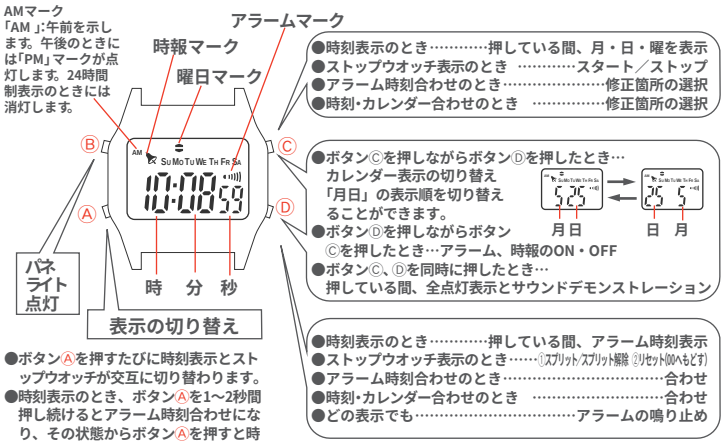
12/24時間制切り替え

パネライト機能
ボタンⒷを押すと内部照明が点灯します。約4秒間の残照式です。電圧をかけると光を放つ現象（エレクトロルミネッセンス=EL）を利用した発光方式です。

オートカレンダー
うるう年の2月29日をのぞき、月末のカレンダー修正は必要ありません。

※サウンドデモンストレーション…アラーム音を試し聴きできる機能のことです。
※パネライトに使用しているエレクトロルミネッセンスの発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています（詳しくは「■エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）について」を参照）
※パネライト点灯中は音がしますが、これは駆動用の昇圧回路が出す音で異常ではありません。

■各部の名称とはたらきボタンはどの様な順序で押してもこわれません。



●時刻表示のとき……押している間、月・日・曜を表示
●ストップウオッチ表示のとき　……スタート／ストップ
●アラーム時刻合わせのとき……修正箇所の選択
●時刻・カレンダー合わせのとき　……修正箇所の選択

●ボタンⒸを押しながらボタンⒹを押したとき…
カレンダー表示の切り替え
「月日」の表示順を切り替えることができます。
●ボタンⒹを押しながらボタンⒸを押したとき…アラーム、時報のON・OFF
●ボタンⒸ、Ⓓを同時に押したとき…
押している間、全点灯表示とサウンドデモンストレーション

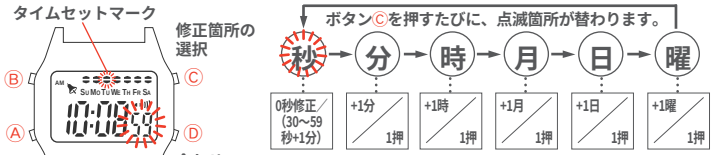
●ボタンⒶを押すたびに時刻表示とストップウオッチが交互に切り替わります。
●時刻表示のとき、ボタンⒶを1～2秒間押し続けるとアラーム時刻合わせになり、その状態からボタンⒶを押すと時刻・カレンダー合わせになります。

●時刻表示のとき……押している間、アラーム時刻表示
●ストップウオッチ表示のとき……①スプリット/スプリット解除 ②リセット(00へもどす)
●アラーム時刻合わせのとき……合わせ
●時刻・カレンダー合わせのとき　……合わせ
●どの表示でも……アラームの鳴り止め

■時刻・カレンダーの合わせかた

「アラーム時刻合わせ」状態で、ボタンⒸおよびボタンⒹの操作をせずに、ボタンⒶを押すと、「時刻・カレンダー合わせ」になります。

① ボタンⒶを1～2秒間押して、 アラーム時刻合わせ にした後、もう一度ボタンⒶを押して、 時刻・カレンダー合わせ にしてください。（タイムセットマークと秒が点滅します。）
② ボタンⒸを押して、合わせたい箇所を点滅させます。
③ ボタンⒹを押して、合わせます。
④ 合わせ終わったら、ボタンⒶを押して 時刻表示 にもどしてください。



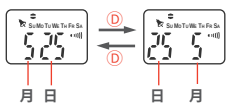
ボタンⒹを押すと、点滅しているところの数字が1つずつ進みます。（押し続けると早く進みます。）

秒合わせ

●<秒>を点滅させ時報に合わせてボタンⒹを押すと00秒に合います。
※<秒>が30～59秒のとき、ボタンⒹを押すと、<分>が1分くり上がって、00秒に合います。

■カレンダー表示の使いかた

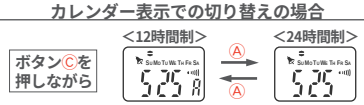
① ボタンⒸを押して、 カレンダー表示 にしてください。押している間だけ、<月><日><曜>を表示します。
② ボタンⒸを押しながら、ボタンⒹを押してください。<月><日>の表示が、押すたびに交互に入れ替わります。



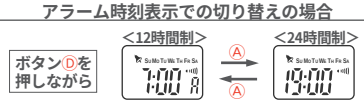
■12時間制と24時間制の切り替え

● カレンダー表示 または アラーム時刻表示 の状態で、さらにボタンⒶを押せば、 時刻表示 および アラーム時刻表示 が<12時間制>または<24時間制>に切り替えられます。

カレンダー表示での切り替えの場合



アラーム時刻表示での切り替えの場合

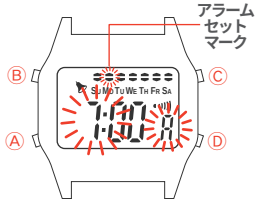


この12／24時間制切り替えは、ボタンⒶを押すごとに交互に切り替えられます。

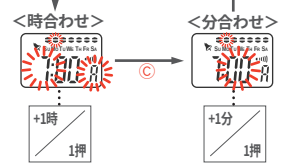
■アラーム時刻の合わせかた

1日に1回鳴るアラームの設定ができます。（24時間に1回鳴ります）
① ボタンⒶを1～2秒間押し続けて、 アラーム時刻合わせ にしてください。（アラームセットマークが点滅します。）
※ストップウオッチ表示で、ボタンⒶを1～2秒間押し続けても、アラーム時刻合わせになります。
② ボタンⒸを押して「時合わせ」または「分合わせ」の状態にします。（表示は右の順序で替わります。）
③ ボタンⒹを押して合わせます。1回押すごとに点滅しているところの数字が1つずつ進みます。
※アラームマークが消えていても、アラーム時刻を修正すると自動的にアラームマークが点灯します。
④ 合わせ終わったら、ボタンⒶを押して 時刻表示 にもどしてください。（この時 時刻カレンダー合わせ にならずに 時刻表示 に直接もどります。）

[アラーム時刻合わせ]



ボタンⒸを押すたびに表示が替わります。



ボタンⒹを押すと点滅しているところの数字が1つずつ進みます。（押しつづけると早く進みます。）
※「時合わせ」のとき、午前（A）・午後（P）をよく確認してください。

鳴っているアラームを止めるには

アラーム設定時刻になると、30秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを途中で止める場合は、ボタンⒹを押してください。
※どの表示状態でもこの操作は可能です。ストップウオッチ表示においては、ボタンⒹの操作としても有効となりますので、ご注意ください。

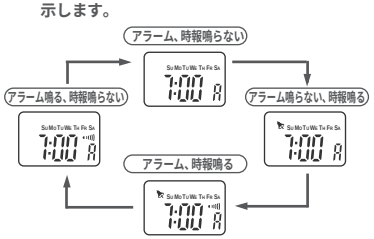
サウンドデモンストレーション

●アラームの音を試し聴きしたいときは、 時刻表示 のときに、ボタンⒸとボタンⒹを同時に押します。押している間アラーム音が鳴り、右図の様に全部の表示が点灯します。この全点灯表示は、販売店が調整の際利用するもので、故障ではありません。ボタンⒸまたはボタンⒹを離せば、もとの 時刻表示 にもどります。
●この操作をした後は、<アラームマーク>と<時報マーク>およびカレンダー表示の状態が変りますので、 アラーム時刻表示の使いかた および カレンダー表示の使いかた を参照して、もとの状態にもどしてください。

[全点灯表示]

■アラーム時刻表示の使いかた

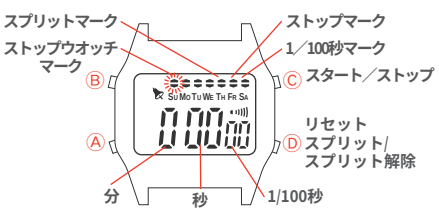
・アラームと時報の鳴る／鳴らないの設定が、アラーム時刻表示中にできます。
① ボタンⒹを押して、 アラーム時刻表示 にしてください。押している間だけ、セットしたアラーム時刻を表示します。
② ボタンⒹを押しながらボタンⒸを押してください。下図の様に、ボタンⒸを押すたびに<アラームマーク>、<時報マーク>が点いたり消えたりして、アラーム音、時報のON・OFFを表示します。



※ボタンⒹを押しながらボタンⒸを押すと、サウンドデモンストレーションができます。

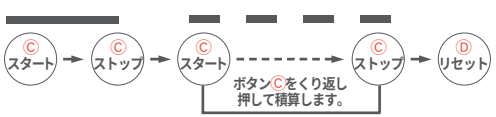
■ストップウオッチの使いかた

・計測時間が、40分までは1/100秒単位で、それ以降は1秒単位で計測表示します。
・24時間計測すると、00秒に戻って計測を続けます。
① ボタンⒶを押して ストップウオッチ にしてください。（ストップウオッチマークが点滅します。）

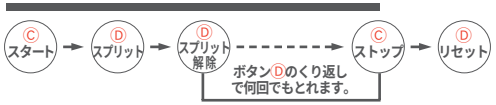
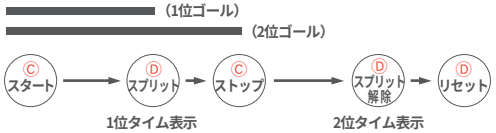


（1／100秒マークは40分を過ぎると、点滅が停止します。）
② 使う前に00秒にもどしてください。
※スプリットマークとストップウオッチマークが点滅している時は、ボタンⒸを押し、ストップマークの点滅を確認してから、ボタンⒹを2回押してください。
③ 長い時間を測るときは、スタート後 時刻・カレンダー表示 にしておくと、誤操作を防ぐことができます。なお ストップウオッチ では、ボタンⒸまたはボタンⒹを押すたびに操作確認音が鳴ります。

普通の使いかた……積算タイムを測る



スプリットタイムのとりかた……途中時間を測る



1・2位のタイムのとりかた……